

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・9、10月は台風の影響で大きく落ち込むかと思われたが、台風の日だけが悪く、翌週の週末は、来街者、カード売上とも通常の2倍を記録している。落ち込みを跳ね返す力を感じるため、やや良くなる。
		百貨店（売場主任）	・秋冬物の洋服に期待できる。11月から来年に向けては、開店記念の動員策を徹底し、来客数の増加も見込んでいる。また、春に向けてリモデルを予定している。
		家電量販店（店長）	・パソコン本体は今回もマイナーチェンジで新商品の伸びはないが、今後もデジタル家電を中心に好調に推移していけば、売上の貢献に期待できる。
		乗用車販売店（総務担当）	・新型車が発売され順調に受注を獲得しているが、新型車に受注が集中しているため、登録ベースでは期待したほどではない。しかし、来月以降の登録につながってくるので、今後確実に良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・来客数は増加傾向にあるので、天災や事故等、突発的な要因がなければ、明るい見通しが持てる。
		一般レストラン（店長）	・現在は人の流れもあまりないが、当店は近隣の店より低い価格設定をしているので、年末に向けて当店で宴会を行ってもらえると期待している。
		タクシー運転手	・2、3か月先は忘年会が多くなるので、景気は少しは良くなる。新潟地震の影響が出てこなければ良いと思う。
		通信会社（経営者）	・ボーナスが増えるという情報がある。心理的に明るくなりつつあり、それが消費につながりそうである。
変わらない		パチンコ店（経営者）	・11月には新札が出る。また、パチンコ台の基準も変わり、おもしろい機械が導入されるので、少し良くなると期待している。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	・現状の客の様子から、良くなる要素がみえてこない。悪い状況が変わらない。
		一般小売店〔CD〕（営業担当）	・台風や地震などの影響で、嗜好品への出費を抑える傾向は、しばらく続く。
		百貨店（広報担当）	・11月は冬物衣料の最盛期、12月はクリスマス関連ギフト及び歳暮のピークとなるが、気温が順調に下がり、天候に恵まれれば、前年並みの売上は確保できる。ただし、儀礼廃止による歳暮の縮小傾向やコート等重衣料でのヒット商品不足などから、売上が前年を大きく上回るような伸びは期待できない。
		百貨店（営業担当）	・商圏内での競合ショッピングセンターのオープンの影響があり、主力の衣料品の動きに力強さが感じられない。今後も現状のまま推移する。
		百貨店（営業担当）	・来客数は前年並みだが、平均客単価、特に買上点数が減少しており、売上高が前年を下回る原因となっている。必要な物以外は購買しない姿勢はしばらく続く。ファッション商品に、その傾向が顕著に出る。
		百貨店（販売促進担当）	・株価が停滞気味で、富裕層の消費動向にも影響が出そうである。クリスマスや歳暮商戦に突入し、新館オープン効果が期待されるが、更なる施策を講じないと次々にオープンする他業態店舗へ流れる可能性もあり、油断はできない。
		百貨店（販売促進担当）	・今後の野菜、酒、米、鍋などの商品供給がどうなるか、被災地の復興が関係してくる。
		スーパー（店長）	・台風の影響により、水産、特に青果物の相場が過去に例がないほど急騰し、葉物に関しては年内は回復の見込みがないため、年末商品の原料確保、価格が懸念される。
		スーパー（店長）	・最近気温が若干下がり、上着の売行きが好調になってきている。12月には春物を早期投入し、暖冬にも備えたいと思っている。現状では、台風や雨の影響で野菜が高騰しており、今後もしばらくこの状況が続く。また、地震などの影響で不安材料が多く、景気が良くなることは望めない。
スーパー（店長）	・台風や地震等の災害により、生鮮食料品の価格がどれくらい高騰するのか懸念される。値段によっては買い控え等も発生することが予想される。年末商戦にも少なからず影響があるものと予想される。		
スーパー（統括）	・原油高騰の影響がじわじわと出てくる感があり、消費は今以上に良くならない。		

スーパー（運営担当）	・生鮮食品の価格の高騰があり、この反動で12月中旬から下旬にかけての年末商戦で、生鮮食品の価格値下げ競争が起こるだろう。ただ、価格は落ちても販売量が上がる分、トータルでは変わらない。
コンビニ（経営者）	・台風や地震による社会不安があり、立ち直るには少し時間がかかる。
コンビニ（経営者）	・このところ来客数が減少し、客単価も以前に比べて低いので、悪いまま変わらない。
コンビニ（店長）	・平日の売上は、イベント開催時やタバコや酒などの目的買いのものは好調であるが、それ以外の商品については落ち込んでいる現状から、先行きが良くなるとは考えられない。
衣料品専門店（経営者）	・月末に新潟地震が発生し、客が動揺している様子がうかがえる。また、原油の高騰で、冬場に向かい灯油等が値上がりすることが明らかだが、当店としては単価を可能な限り下げ、商品回転を上げることで対応しているので、商品を手当できれば、来客数の増加を維持できる。
衣料品専門店（営業）	・ボーナスが少なくなる予想が多いようで、売上増加には結び付かない。
家電量販店（店員）	・DVDレコーダー、薄型テレビには期待できるものの、他の商品の落ち込み、特にパソコンの売行きに期待できないため、今後の状況は変わらない。
家電量販店（営業統括）	・ボーナス商戦に突入するが、客の価格に対する意識は依然として厳しさが続き、販売数量も含めて楽観視できない。品ぞろえの豊富さだけでなく、価格に対する対応力や市場を見極める洞察力が必要である。
家電量販店（営業部長）	・デジタルカメラなど夏的好調商品に一服感があるものの、今後年末までの間に新製品の投入が相次ぎ予定されており、期待できる。懸念されるのはデジタルカメラ、薄型テレビ、DVDレコーダーなど主力商品の単価が昨年に比べて低下していることである。低下分を販売台数で稼ぐための策が重要となる。
乗用車販売店（販売担当）	・来年は新たな規制があるため、車両への需要が高まるが、車両の価格アップは見込み難く、ユーザーの運賃対価も上がっていないため、2、3月先の景気は良くならない。
自動車備品販売店（経理担当）	・見積りの依頼は非常に多いが、それが売上に繋がらないことが多い。
高級レストラン（支配人）	・当地域の開発が一段落し、人の流れもだいぶ落ち着いてきている。今後は現状の水準で推移していく。
都市型ホテル（スタッフ）	・手持ちの宿泊受注は悪くないが、婚礼の落ち込みが続いている。予約状況も芳しくない。この先どうなるか見えない状況である。
旅行代理店（従業員）	・団体の海外旅行者など、全体のパイが増えない限り、良くならない。団体が動かない限り、厳しい状態は続く。
旅行代理店（従業員）	・2、3か月後は年末年始を迎え、客が動く時期だが、良い材料も悪い材料も見当たらない。法人旅行があまり変わらず、個人旅行に期待をかけている。
旅行代理店（従業員）	・新潟中越地震の影響が、現時点では未知数である。
タクシー運転手	・良くなる感触もあるが、燃料代の高騰など、不確定要素もあり、本格的に継続して良くなるには、まだ時間がかかる。
タクシー運転手	・冬に向かい、寒くなるにつれて、燃料の値上がりなどの影響が出てくることを心配している。年末までは、日中、夜とも利用客が減少すると見込んでいる。
通信会社（企画担当）	・年末商戦までは、今の傾向を急に変化させる要因や商品がない。
ゴルフ場（支配人）	・予約状況からみて、現状の推移を保つことができる。
その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・家庭用ゲームについては、年間で最大の商機が到来する。前年に比べれば減少傾向にあるが、9、10月に連続で開催された業界の新製品展示ショーが商戦を盛り上げており、前年とほぼ同等の売上になる。
住宅販売会社（経営者）	・景気が回復しつつある大企業と、依然として不況の中にいる中小企業の差が大きい状況は変わらない。
住宅販売会社（従業員）	・年末入居の件数は増加するが、前年比では横ばいの予想である。
住宅販売会社（従業員）	・良くなる要素も悪くなる要素も見当たらず、しばらく景気のこう着状態が続く。台風や地震の影響がない代わりに、住宅の新商品発売などの仕掛け作りも動きがない。

やや悪くなる	商店街（代表者）	・新潟県中越地震の経験から、政府の対応が遅れていることを客が懸念しているようである。消費者の懸念を、政府に任せても大丈夫だという信頼に変えていかなければ、景気が回復することはない。
	商店街（代表者）	・台風と新潟地震に、客が敏感になっている。建築関係は一部良いかもしれないが、物販に関しては、消費者が不要な物を買ひ控える傾向が今まで以上に強まる。
	百貨店（広報担当）	・歳暮、クリスマス、初売り、クリアランスセールと本格的な冬商戦に突入するが、マスコミからの同商戦に対する問い合わせが以前より減少している。社会的な関心事が消費よりも他の事柄に移っていると言える。
	百貨店（営業担当）	・天候不順、地震などへの不安に対する買ひ控えが起きることは必至であり、特に百貨店は影響を受ける。
	百貨店（営業担当）	・今年は冬物の動きが若干遅れ気味である。冬物最盛期が遅れると、来年のクリアランス期に近づくにつれ買ひ控えが発生する。客単価の低下も予想されるため、厳しい状況は続く。 ・最近発生した新潟中越地震の影響で、米や野菜などの食品の高騰が懸念され、購入量の減少による売上減が懸念される。消費者に対する心理的影響もマイナスに働く可能性は否めない。
	百貨店（営業企画担当）	・気温の低下と天候の回復に伴い、秋物衣料品が動く時期となったが、販売量が前年比70%の現状から類推すると、冬物の販売量に期待し難い状況である。
	コンビニ（経営者）	・以前は給料日に1万円札を持って買ひに来る客がいたが、大型店に流れてしまっているのか、このような客はいなくなっている。先行きの売上にも期待できない。
	衣料品専門店（経営者）	・冬物に切り替わる年末にかけて、これといった売れ筋商品が見当たらない。前年の売れ筋を低価格で展開すると、どうしても売上が落ちるので、厳しい。
	その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・年々客単価が低下し、特に医薬品と日用雑貨の落ち込みが大きい。安売りしても販売個数はさほど変わらず、更なる単価の低下を誘発する結果となっている。今までとは違うやり方をする必要がある。
	都市型ホテル（スタッフ）	・中越大地震と石油の高騰の影響が続く。
	都市型ホテル（スタッフ）	・12月の忘年会の取り込みが前年同時期と比較して3割少なく、新年会の取り込みも2割少ない。企業主催のパーティは値下げ要求が依然として強く、予算が合わない場合は当社より安い会場へ場所を変更している。飲食を伴わない形式での新年会の問い合わせも多くある。
	旅行代理店（支店長）	・台風、地震などの災害が集中して起きており、消費マインドに水が差されている。
	旅行代理店（従業員）	・現状受けている旅行の問い合わせや申込は、10～11月までのもので、12月以降の仕事はバッタリない状況である。
	通信会社（営業担当）	・デジタル放送の新規材料がなく、インターネットも市場の飽和感がある。
	設計事務所（経営者）	・行政関係の仕事は、指名参加人数等が何も分からない中で、自社の金額だけを提示する電子入札が主流になってきており、仕事が取れる可能性が極めて低い。各事務所は無理をした低価格で入札してくるが、社員の多い当社にできることではなく、先がみえない。民間の仕事も冷え込んでいる。
設計事務所（経営者）	・建設業では、資材不足で価格が上昇してきているので、景気は良くならない。	
設計事務所（所長）	・案件が具体化するのに時間がかかる状況は続いており、2、3か月先に状況が良くなるとは考えられない。	
設計事務所（所長）	・自然災害が起きると、建物の安全性に配慮した改修工事等は多少増加するが、客の新築工事への意欲はなくなり、現金確保に動くため、仕事量は減少する。	
悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・天候に売上が大きく左右されている上、台風や地震の発生もあり、衣料品に対する消費者の購買意欲も減退している。今年は秋がなく、一挙に冬物需要に突入しており、今後は2か月ほどでセールに入るので、粗利の確保が難しい。苦戦が予測される。
	美容室（経営者）	・客が金を使わない。
	設計事務所（所長）	・資材価格が徐々に上昇している一方で、受注価格は一向に上がらない。

企業 動向 関連	良くなる	その他サービス業 [ディスプレイ] (経営者)	・受注先や問い合わせ先に、新規客の割合が増加している。
	やや良くなる	金属製品製造業 (経営者)	・新規客の大手企業より見積依頼があり、見積価格のままで取引が始まった。機械加工業者はどれも手一杯で、発注担当者は苦労しているとのことである。10月に入り従来の顧客からの注文も増え、残業増、休日出勤で対応している。今後もやや良くなる。
		金属製品製造業 (経営者)	・液晶設備関係の仕事が始まり、受注も来年まで約束されているので、これからは少し忙しくなる。
		一般機械器具製造業 (経営者)	・新規の仕事が本格的に立ち上がってくるので、3か月先には現状より良くなる。新規受注が一杯になっているので、これ以上とらないようにしている。
		輸送業 (財務・経理担当)	・新潟中越地震が発生し、増便の依頼が増えている。
		金融業 (渉外担当)	・企業による設備投資意欲は依然として弱いものの、一部の法人や個人による不動産投資は増加する見込みである。景気は徐々に上向いている感がある。
		不動産業 (総務担当)	・引き続き、新規テナントの入居や既存テナントの増床希望等の需要はおう盛であり、この先も確実に空室率の改善が見込める。
	変わらない	広告代理店 (営業担当)	・取引先のラインナップ商品数が前年比で増加している。
		出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・台風、地震、原油の値上がりで、良い材料が全くない。仕事で使用している塩ビ、アクリル、樹脂等が10月に入り3回値上がりしている。仕事が偏ってきており、仕事の単価も下がっている。
		出版・印刷・同関連産業 (営業担当)	・10年以上付き合いのある企業からの定期的な受注が減少している一方、インターネットを通じて、15、6万円で贈呈品を作成する個人客、宗教法人などの受注が増加してきており、二極化の傾向がみられる。
		化学工業 (従業員)	・先行きの生産予定数量に変更がない。ただし、原材料が今以上に値上がりするようであれば、生産量を増加し、値上げする可能性もある。
		プラスチック製品製造業 (経営者)	・原油高でプラスチック関係の原材料が値上がりしており、需要が減少する。悪いまま変わらない。
		プラスチック製品製造業 (経営者)	・原材料の単価が上昇しており、売上が上がらない。新潟地震の影響で家の中で使うプラスチックの注文が急に増加しているため、生産量はこれから多くなる。
		建設業 (営業担当)	・不動産物件の売買情報が増加しており、それに伴って建設業にも引き合いが多くなっているが、大型物件の取引については依然として単価が厳しく、先行きもこの傾向が続く。
やや悪くなる	輸送業 (経営者)	・燃料価格が不安定なため、先行きの見通しが立たない。	
	通信業 (営業企画担当)	・取引先の経費節減が激しく、今までのつながりやアフターサービスだけでは、つなぎとめることが難しくなっている。このような状況の中で、急激な受注増は見込めない。	
	電気機械器具製造業 (経営者)	・原材料が上がっているのに、それを製品単価に転嫁できない。ゼネコンやサブコンはそのような状況に関係なく、下請をたたいてくる。現在、多くの下請業者が倒産しているが、今後も倒産は増える。	
	電気機械器具製造業 (経営者)	・引き合いに対しての成約率が徐々に低下している感がある。	
悪くなる	輸送業 (総務担当)	・得意先の出荷量は予定通りであるが、運賃は厳しく、採算割れの部分もある。同業者間の取引も、件数はあるが運賃が安い。この状態が当分続きそうである。	
	金融業 (審査担当)	・取引先の旅行業者の予約状況は例年と比較し80%程度となっており、台風の影響が響いているようである。	
雇用 関連	悪くなる	繊維工業 (従業員)	・先行きの業績が悪化する見通しの企業割合が高い。
	良くなる	輸送業 (総務担当)	・年末にかけ、仕事量の増加は見込まれるが、燃料費の値上がりが見込まれることもあり、ますます厳しくなる。
		新聞社 [求人広告] (担当者)	・全体的にみて、募集の数は減少していないが、競争に負けている状態である。媒体そのものの欠点などを補う営業を行っていかなくてはならないと考えており、できると考えている。
やや良くなる	人材派遣会社 (社員)	・派遣料金は相変わらず低いままであるが、10月中に11月以降の派遣依頼が入るようになってきており、早めの派遣依頼の傾向がみられる。	

	求人情報誌製作会社 (営業担当)	・採用を拡大した企業が、引き続き業績を伸ばすと予想している。
	職業安定所(所長)	・新規高卒求人が大幅な増加となっている。規模別では、29人以下でマイナスになっているが、他はすべて増加している。就職内定率も、前年より良いスタートになっているため、今後はやや良くなる。
	職業安定所(職員)	・新規求人数は、一般社員が17か月連続、パート社員も10か月連続で前年同月を既に上回っている。10月は一般社員でホテル客室係のチェック、労務管理員、介護士、精密機器配送ドライバー、パート社員ではホテル客室清掃整備員の大量求人が目立っている。今後もやや良くなる。
	学校[専門学校](教務担当)	・企業の採用担当者の「優秀な人材を積極的に採用したい」という前向きな熱意を、大いに感じている。
	学校[専修学校](就職担当)	・新年度採用活動前のこの時期に、来年4月入社の採用を検討している企業が増加している。
変わらない	求人情報誌製作会社 (営業担当)	・季節的な求人需要は増えると思うが、恒常的な求人に関しては11月以降、減少する傾向がある。突発的な求人の増加とそうでない求人の減少で、結局はプラスマイナスゼロになる。
	求人情報誌製作会社 (編集担当)	・百貨店など地元大型店のリニューアル後の動きが鈍い。人員の配置、増強が一段落したためか、若しくは予想売上の不調なのか、年末商戦に向けて慎重な様子が見える。
	職業安定所(職員)	・企業側が、派遣や請負を中心とした採用を行う状態が、今後変わるとは予想されない。
	職業安定所(職員)	・夏前まで求人増の主役であった製造業からの求人がマイナスとなっている。 ・卸、小売業からの求人はマイナス基調が依然として続いている。個人消費の動向と関連の深い業種であることから、求人の先行きに不透明感が強く感じられる。
	職業安定所(職員)	・パートや請負求人の増加傾向が続くものと思われ、求職者の希望とのミスマッチが解消されない。
	民間職業紹介機関(経営者)	・求人企業の案件数や採用状況は、少しずつ弱くなっているが、急激に良くなる感はない。新聞紙上では雇用は伸びていると報道されているが、実感としては、伸び足りない。
やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-